

目標（6）

人のつながりやぬくもりの中で 子育て・子育てを支えます



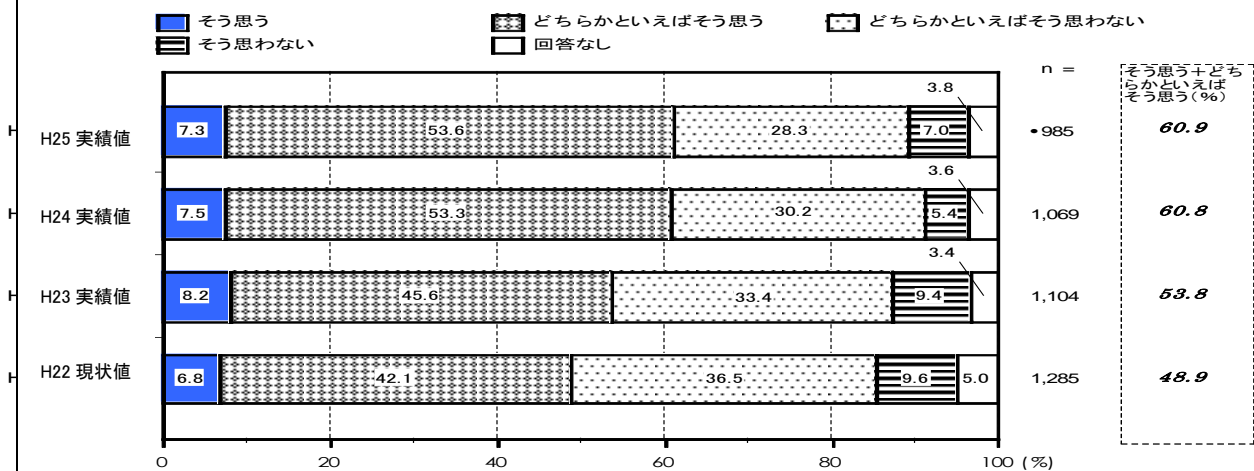
▲家庭的保育のようす

I. 目標と目標の達成状況

1. 目指す姿	
目標達成に向けての考え方	家庭だけでなく、地域・事業者・関係機関と連携して、多様なライフスタイルやニーズに対応し、安心して子どもを産み育てることができる環境を整えていきます。
目標が達成された姿	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 安心して子どもを産み、育てられるようになっていきます。 ◇ 地域の見守りの中で、子どもがのびのびと活動する姿が見られます。 ◇ 地域・事業者・関係機関と連携して、子育て・子育てを支える体制ができています。 ◇ 子育てや仕事を楽しむ親が増え、親子の対話やコミュニケーションが活発になっていきます。

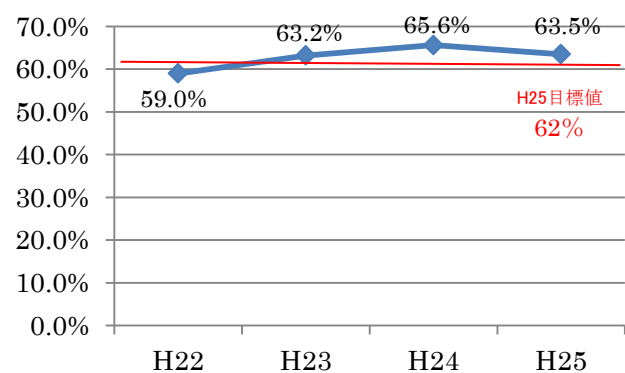
2. 市民意識調査結果

【設問】人のつながりやぬくもりの中で、子育て・子育てを支えているまちだと思う

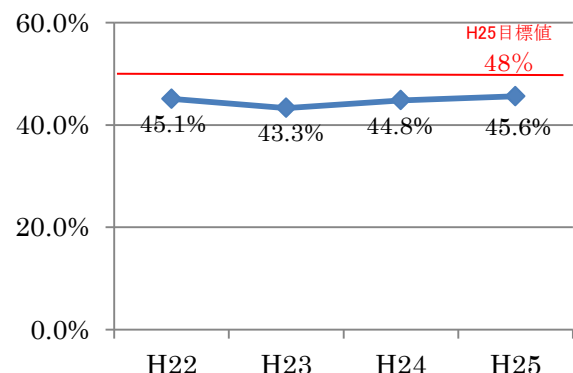


3. 「みんなで目指すまちづくり指標」の状況

1) 子どもを産み、育てやすいと感じている人の割合



2) 子どもとふれあう行事に参加したことがある人の割合



4. 「市民意識調査」「みんなで目指すまちづくり指標」結果に対する現状分析（要因・課題等）

- ◆指標1) は計画策定時より数値が上昇し、目標値を達成することができた。子どもの医療費の無料化は継続性が求められ、かつ保育と子育て支援の充実及び多様化がニーズ対応として必要と考える。
- ◆指標2) は計画策定時から横ばいである。第2次高浜市生涯学習基本計画の着実な推進のため、引き続き本指標達成への取組みを進めていかなければならない。
- ◆今後も指標の数値向上に向け、事業所管グループだけでなく、市役所内や地域団体等と連携を強化し、「まなびの根っこ」である子どもたちを地域全体で育てていく環境の整備が必要と考える。

II. 目標達成のための主な取組み

こんなことに取り組みます！	何を・どうした	いつ
★地域の人たちと交流したり、異年齢の子どもと遊んだり、学んだりすることによって、子どもの自主性・社会性を育む居場所を拡充します。	①全小中学校で放課後居場所事業を実施した。	H23.5
	②関係者（学校・シルバー・行政）による連絡調整会議や、参加生徒に対しアンケートを実施し、子どもたちが気軽に参加しやすい事業の実施に向け取り組んだ。	H24.2 ～H26.3
★「たかはま子育て・子育て応援計画」（次世代育成支援対策地域行動計画）に基づき、利用者のニーズを反映した保育サービスを提供します。	①吉浜保育園・中央保育園の民営化を開始した。	H24.4/H25.4
	②家庭的保育「おひさま」・「からんこえ」を開所した。	H24.4/H25.4
	③幼稚園預かり保育の拡充を開始した。	H25.4
★子どもを取り巻く人や地域、専門機関などをつなぐネットワークを構築し、地域力を強化しながら、子育て・子育てを支援します。	①「子育て支援ネットワーク」ポータルサイトの運営により、小中学生まで拡充した子育て関連の情報を随時配信した。	H23.4 ～H26.3
	②メールマガジンを随時配信することにより、子育てに関する情報を提供した。	H23.4 ～H26.3
★中学校卒業までの子どもの医療費の無料化を継続します。	①中学校卒業までの医療費無料化を継続して実施した。	H23.4 ～H26.3
	②出生届出時等で制度を周知し、証交付につなげた。	H23.4 ～H26.3
☆子どもの思いを理解し、子どもの目線にたって、成長を支援できる大人を増やす取り組みを行います。	①家族でのコミュニケーションを深めるきっかけづくりとして、「笑顔の写真展」を実施した。	H23.11 ～H26.3
	②「たかはま子ども市民憲章誕生 10 周年」を記念し、子どもと大人の関係を考える委員会と協働で、冊子「おとなも子ども」を発行した。	H26.3
☆個々の実情に応じた相談体制や各種講座を充実させ、子どもが健やかに育つ環境を整えます。	①いちごプラザ、各支援センターによる各種講座や相談事業を実施し、ポータルサイト等を利用したPR活動を行った。	H23.4 ～H26.3

III. 課題と今後の取組みの方向性

課題	今後の取組みの方向性
①多様化する保育ニーズへの支援施策の展開 ・待機児童への対応をはじめ、多様で柔軟な保育サービスの展開が必要である。	◇ ニーズに即した保育サービスを充実するため、「子ども・子育て支援事業計画」の策定及びその実施に取り組む。
②子育て活動団体の継続的な活動支援 ・子育て活動団体の連携、継続的な活動の活性化には、子育て家庭との結び付きが重要である。	◇ 行政と子育て支援団体等の活動の連携が図れるよう、活動情報を一元的に収集・発信するポータルサイトを活用する。
③地域等による子どもの自主・自立の支援 ・異年齢・世代間交流を通じ、子ども同士で遊ぶ中で、自主性・社会性を育む場を提供していくことが必要である。	◇ 平成 27 年度子ども・子育て支援法本格実施に合わせ、学校のグラウンド以外にも児童センターや公園など地域の財を活用し、子どもたちが自由に遊べるような環境づくりに努める。

IV. 第 6 次高浜市総合計画推進会議 コメント

--